

歯科口腔領域の慢性疼痛に関する 人材育成 オンライン研修会

2023年 **12月3日** (日) 10:00-11:45

**Zoom 参加費
無料**

対象：医師，歯科医師，歯科衛生士，看護師，理学療法士
作業療法士，公認心理師，ソーシャルワーカー，薬剤師

慢性疼痛に関する最新知見をぜひこの機会に一緒に学びましょう

司会：田中 裕 先生(新潟大学医歯学総合病院 歯科麻酔科 病院准教授)

開会の挨拶 (10:00-10:05)

木村 慎二 先生(新潟大学医歯学総合病院 リハビリテーション科 病院教授)

1. 症例提示 1 (10:05-10:25)

「診断と治療に難渋している下顎前歯部慢性疼痛の1例」

演者：松井 宏 先生(新潟労災病院 歯科口腔外科 部長)

コメンテーター：松香 芳三 先生(徳島大学大学院 顎機能咬合再建学分野 教授)

：瀬尾 憲司 先生(新潟大学大学院 歯科麻酔学分野 教授)

2. 症例提示 2 (10:25-10:45)

「病状の変化に環境要素が関与していたと考えられた顎関節症の1例」

演者：田中 裕 先生(新潟大学医歯学総合病院 歯科麻酔科 病院准教授)

コメンテーター：松香 芳三 先生(徳島大学大学院 顎機能咬合再建学分野 教授)

：内山 徹 先生(内山整形外科医院 院長)

3. 基調講演 (10:45-11:45)

「口腔顔面痛の簡単な理解

—痛みで困っている患者さんを救うために—

座長：瀬尾 憲司 先生(新潟大学大学院 歯科麻酔学分野 教授)

講師：松香 芳三 先生(徳島大学大学院 顎機能咬合再建学分野 教授)

国際疼痛学会 (IASP) は、痛みを侵害受容性疼痛、神経障害性疼痛、痛覚変調性疼痛に大別している。口腔顔面痛は、この3つのカテゴリーを含んでおり、痛みを苦しんでいる患者は多い。近年、国際口腔顔面痛分類 (ICOP) が発表され、口腔顔面痛の理解が容易になったと考えられる。痛みの管理には、非ステロイド性抗炎症薬 (NSAIDs)、抗うつ薬、抗けいれん薬、理学療法、スプリント、ブラキシズム管理、軟性食品、その他などが含まれ、中枢作用薬は副作用が強いため患者のコンプライアンスは低い。本講演では、口腔顔面痛について紹介し、その対処法に関して先生方と議論したいと希望している。

閉会の挨拶 内山 徹 先生(内山整形外科医院 院長)

お問い合わせ

新潟大学医歯学総合病院リハビリテーション科

ワーキンググループ長：木村 慎二

事務担当：山本 E-mail: riha-ken@med.niigata-u.ac.jp

参加申し込みは [こちら](#)

〒951-8520

新潟市中央区旭町通1丁目754番地

TEL/ FAX 025-227-0369

